

# 留学体験レポート

21016118 村木 沙弥香

4カ月の留学生活で多くの体験をしてきた中から、食事、チャング、トウミ制度の3つについて紹介する。

初めに、食事についてだ。私は辛い物が好きなため、留学をするにあたり韓国料理を毎日食べられることも一つの楽しみだった。最初のころはほぼ毎日外食をしたり、チキンを宅配してもらったりしていたが、毎日味の濃い韓国料理を食べていると白米や野菜も摂りたくなくなり自炊も始め、調整しながら食事をした。また、韓国には辛い物だけではなく味の優しい食べ物もたくさんあるので、辛い物が苦手な人も心配しなくて良いだろう。

次に、チャング体験についてだ。チャングとは韓国の伝統的な太鼓であり、毎週土曜日に国立国学院という所まで練習をしに通った。これは強制参加ではないが、せっかく留学するのだから何か貴重な体験をしたいと思い参加した。正直、毎週土曜日に朝早くから電車とバスを乗り継いで行くことは面倒くさいなと思う時もあったが、行ってみると楽しく、優しくて面白い先生と国情のみんなで発表に向けて一生懸命練習した。そして、発表会は本格的な舞台の上で行い、思い出に残る体験ができた。

次に、トウミ制度についてだ。慶熙大学には、トウミ制度といって留学生1人にマンツーマンで韓国の学生が付き、様々な場面においてサポートしてくれる制度がある。私のトウミは2歳上のお姉さんで、とても優しく、私の行きたい場所にたくさん連れて行ってくれた。初めて会った時、私は全くと言っていいほど韓国語が話せず聞き取ることもできなくて、まともに会話をすることができなかった。また、私のトウミは日本語が全く分からないため、全て韓国語で会話をしなければいけなかった。そのため会話が上手くできないと、自分の語学力の無さに落ち込み、トウミと会うことも自ら積極的には行わなかった。しかし、毎日授業で新しい文法を習い、使える表現が増えていくと、次第にトウミが言っていることも聞き取れるようになり、きちんと会話ができるようになった。そこで、やはり現地の人と直接韓国語で話すことが一番の力になると感じた。

この留学では、数えきれないほど多くの貴重な体験をさせてもらい、一生の財産となる4カ月間を送ることができた。勉強はもちろん、世界各国の人と友達になることもでき、得たものがとても大きく自分自身も成長できたと思う。中学生のころからの夢であった韓国留学をできたことは、今でも夢だったんじゃないかなと思うほどあっという間で、泣いたり怒ったり、日本に帰りたいたいと思う時もあったが、本当に幸せな時間だった。